

1 ある・ない

① ない



② ある



人物：自作

2 れんしゅう

①



②



③



泥棒・金庫：自作

④



⑤



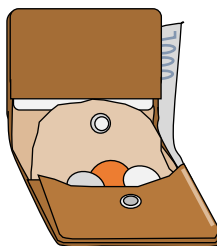
⑥



3 ① おかね



② さいふ



③ かさ



財布・傘：自作

## 【解説】

(1)編入後、すぐに必要となる「ある・ない」の語彙学習です。

文型指導「～に～があります。」ではなく、所持の意味で指導します。

日常生活や学校生活に臨む際に必要な物を持っているかどうかを確かめ、用意させるのにも役に立つ表現です。

(2)授業の進め方

### 1 「ある」「ない」の意味

①イラストを指して「ある」「ない」の意味を理解させます。

理解は不十分でも2以下の練習問題を解いていくうちに理解できるようになります。

②経験上、「ない」の方から教えた方が理解しやすいようです。

「ある」方の絵は、「お金」「嬉しい」と言っているのかと勘違いする生徒がいます。

### 2 意味理解の正確化と使用場面の理解

①財布やお金、傘などを指しながら、全問題の答えを読み聞かせます。

②次に、1問ずつ生徒に答えさせます。

### 3 「お金」「財布」「傘」の語彙指導

①この段階で初めて「お金」「財布」「傘」の語彙を教えます。

②これ以前に教えると、肝心の「ある」「ない」の学習に集中できません。

③まだサバイバル日本語の段階ですから、「お金、ある。」という言い方で教えます。

### 4 復習

①一回で覚えられるものではありませんので、次の時間に復習をします。

②復習のときはイラストを拡大コピーするか「いらすとや」のサイトから画像をダウンロードして絵カードを作成します。

③なるべく、本時の学習と同じ絵カードを使うことで、生徒の記憶想起の手助けを図ります。